

モリト株式会社

## 個人投資家向けIRセミナー

---

東証プライム 証券コード9837

2025年11月

あたりまえに、新しさ。 MORITO

## 目 次

---

■ モリトってどんな会社？	.....	p. 02
■ 事業・商品紹介	.....	p. 06
■ モリトのここがすごい！	.....	p. 13
■ 業績概要	.....	p. 22
■ 成長に期待！これからのモリト	.....	p. 26
■ 株主の皆さまへの還元	.....	p. 38

# モリトってどんな会社？

---

## 会社概要

モリト株式会社（東証P・証券コード：9837）

# MORITO

あたりまえに、新しさ。

1908年 大阪で創業  
日常生活に欠かせない  
小さなパーツをグローバルに展開

経済的ショックの時も  
赤字にならなかった安定した業績

アパレル・スポーツ・  
自動車向けなど、  
様々な市場での販売網

ハトメ・ホック、  
マジックテープ®など、  
国内・世界でのトップシェア多数

## モリトの役割

「つなぐ・留める・飾る」をコンセプトに、製造機能も併せ持つメーカー的商社。  
洋服をはじめバッグや靴、自動車など、あらゆる業界向けに様々なパーツの  
企画開発・製造・調達・販売・顧客の生産フォローまでを一貫して行う。

### 主力商品



ハトメ

※ハトメ:靴・衣類などに紐を通す穴に  
取り付ける環状の金具



靴ひも



ホック



マジックテープ®



アパレル関連事業



プロダクト関連事業



輸送関連事業

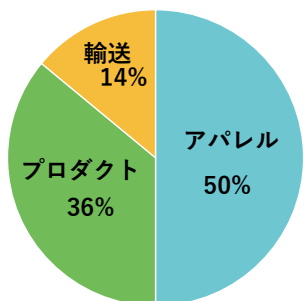
## 数字でみるモリト

＜2024年11月期＞  
売上高 485億円  
営業利益 28億円  
純利益 25億円

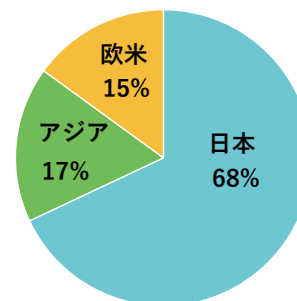
＜株主還元＞  
DOE目標4.0%  
配当性向50%以上  
予想配当利回り4.3%※  
（11月：期末配当の権利確定）

※予想配当利回りは2025年10月の終値（1,625円）で算出

事業別売上高構成  
アパレル・プロダクト・輸送



地域別売上高構成  
アパレル・プロダクト・輸送



（2024年11月期）

# 事業・商品紹介

---

## アパレル関連事業

国内外の有名アパレルブランド向けに商品を多数販売。  
国内有名アパレルブランドの1つでは、ほぼ100%モリトのホックを採用。





## アパレル関連事業 ワーキング・スポーツ

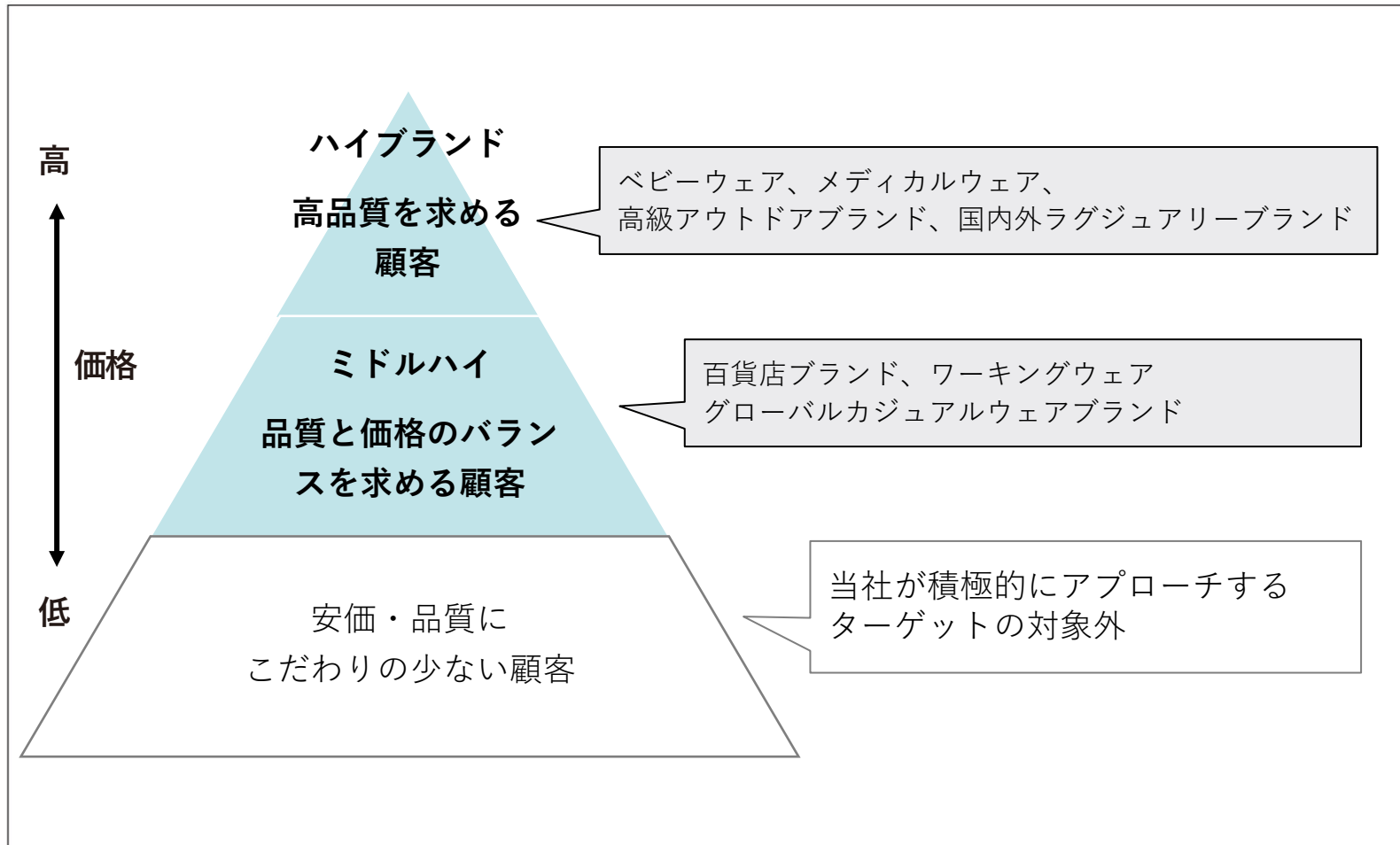
機能性・安全性に優れたものなど、高付加価値商品が強み。ファッション業界だけでなく、ワーキングウェア・メディカルウェア・スポーツ・アウトドア業界向けの商品も多数。

→海外製を中心とした低価格商品との差別化



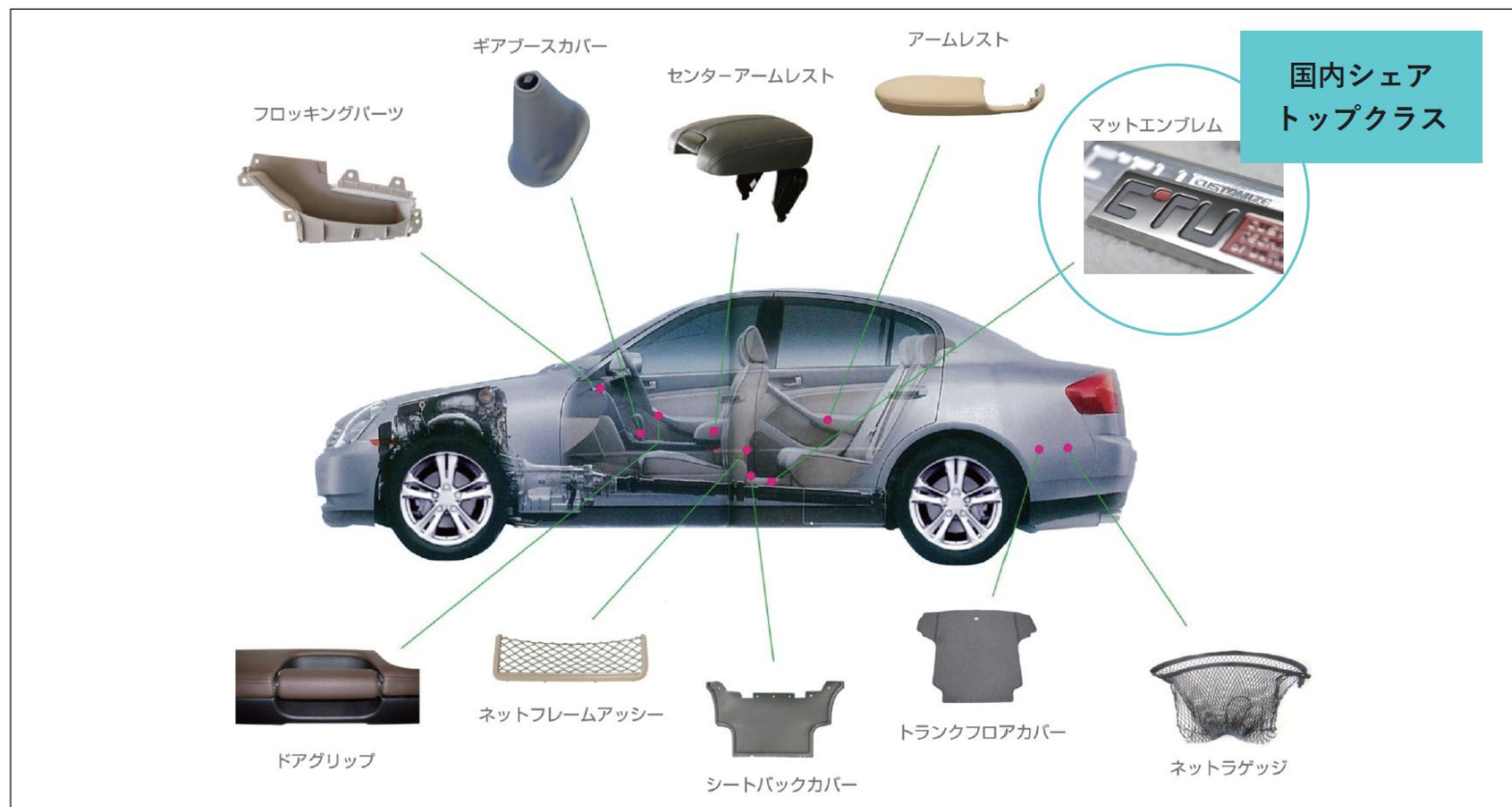
# モリトのターゲット

価格競争になりうる領域は避け、ミドルハイ以上の品質を求める顧客が当社ターゲット。



## 輸送関連事業

カーマットにハトメが使用されたことが始まりで、国内自動車メーカー向けを中心に自動車内装部品を取り扱う。カーマットに付くメタルエンブレムは国内シェアトップクラス。内装部品を扱うため、EVへ移行しても需要が見込まれる。



## 輸送関連事業 新幹線

新幹線の座席前についているネット状のポケットもモリトグループの商品。  
結び目のない特殊な製法で作られているため、物の出し入れはスムーズに行える  
ストレスフリーな商品。

(拡大)



## プロダクト関連事業

機能・耐久性・企画力が評価され、ランドセルメーカー向けのパーツの販売、シューケア商品・サポーター・防水素材バッグの自社ブランド商品を販売。  
五輪競技であるサーフィン・スケートボード・スノーボード関連商品の輸入販売も。



ランドセル



防水素材バッグ ZAT®



CHANNEL ISLANDS®



NITRO®



インソール・防水スプレー



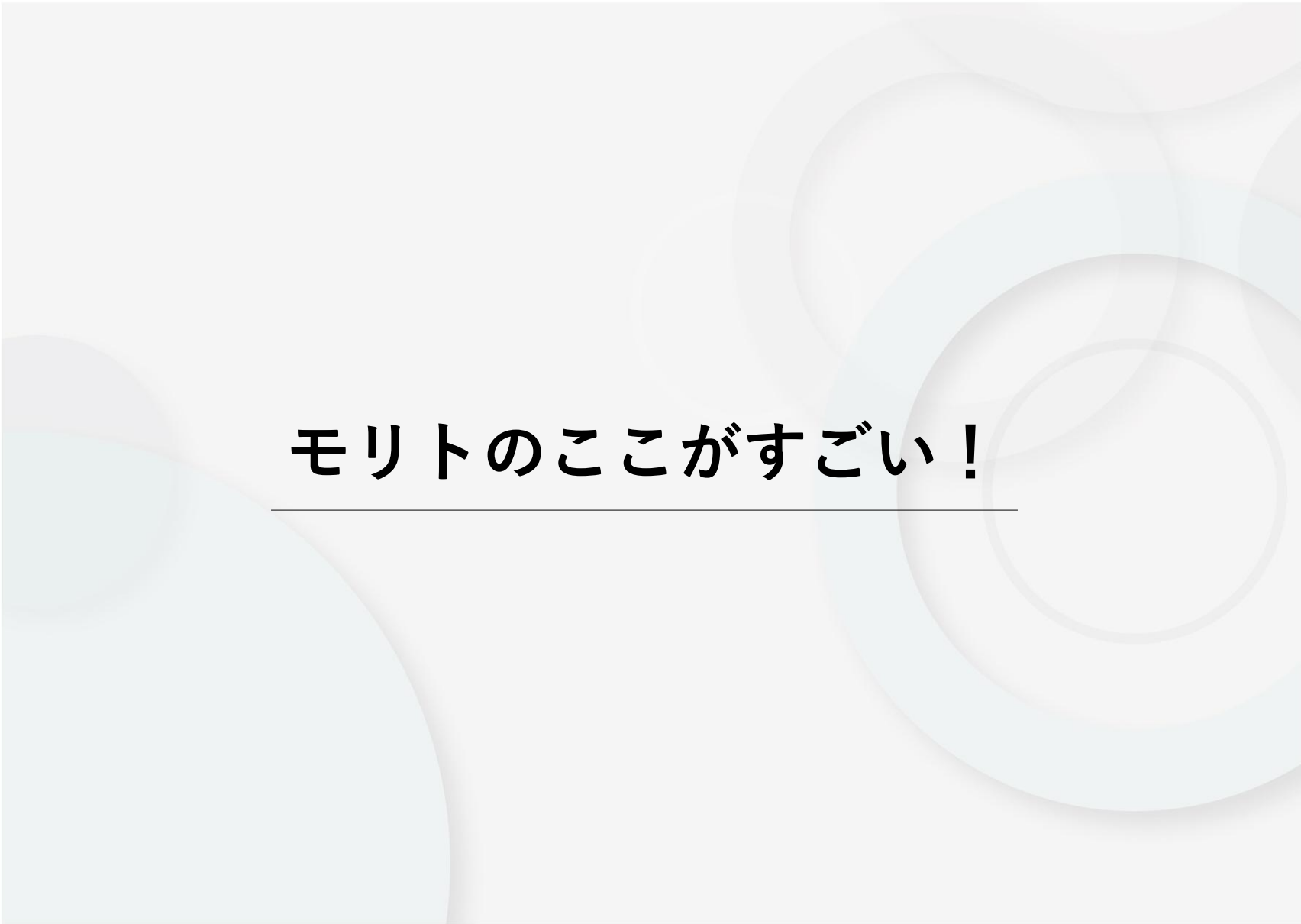
自社ブランド サポーター



グリスフィルター



SHAKE JUNT®



モリトのここがすごい！

---

## モリトの強み

流行に左右されにくい、生活必需品向けのビジネスが多数

+

ポートフォリオが分散して安定した業績

+

製造・調達・販売をグローバルに展開

+

ニッチ分野をターゲットに、トップクラスのシェア



グローバルニッチトップ

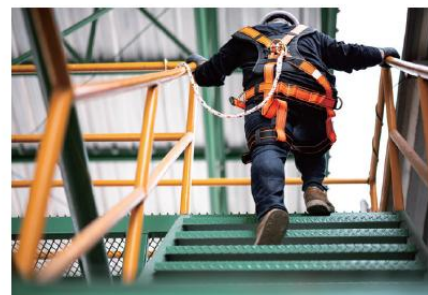


## 流行に左右されにくい、生活必需品向けのビジネスが多数

日常生活に欠かせないもののパーツを扱っているため、流行・景気に左右されにくく、継続的に販売ができるビジネスが多数。官公庁向けの商品などもあり。



ベビーウェア



ワーキングウェア・ハーネス



ランドセル

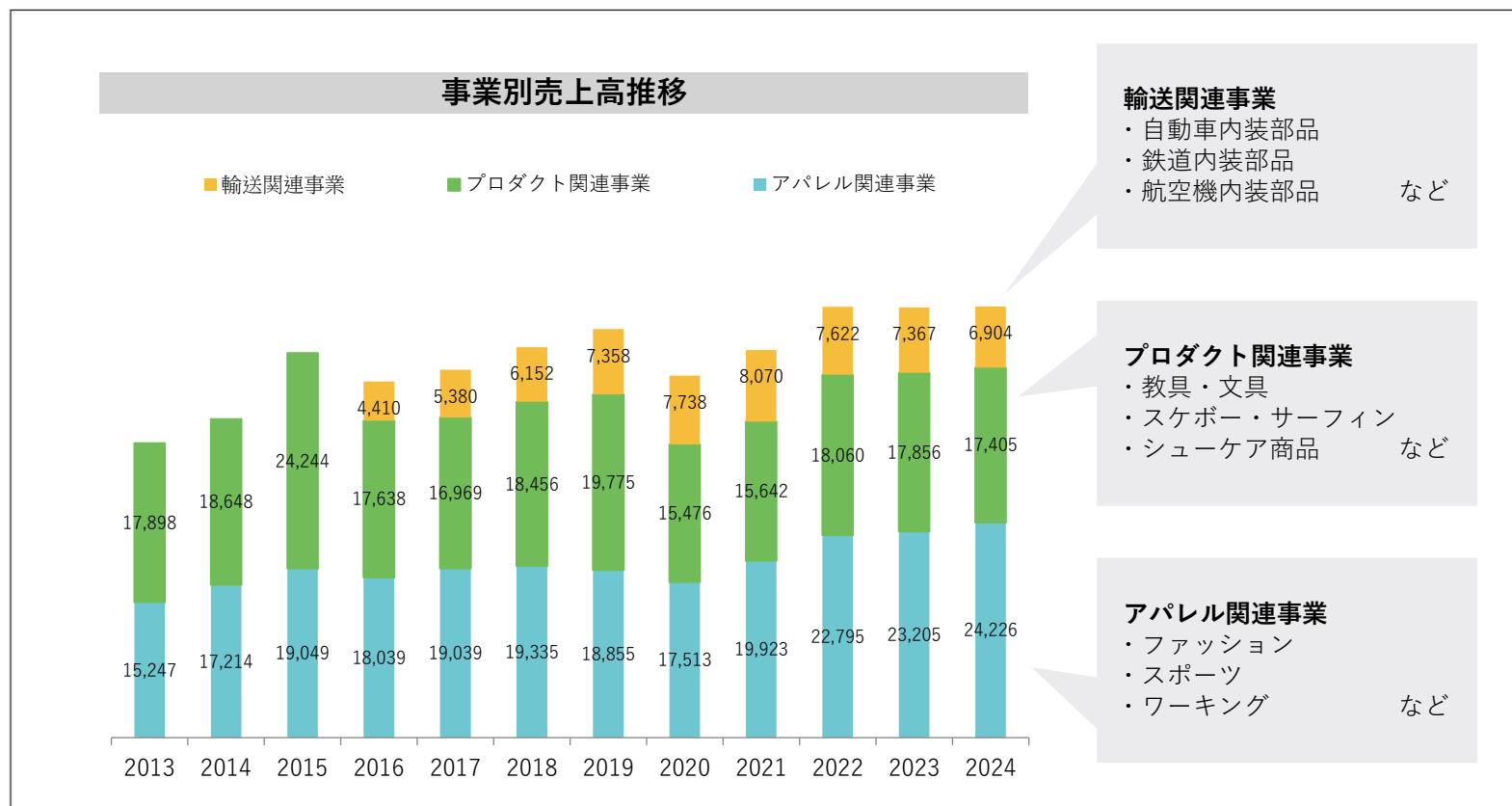


インソール



## ポートフォリオが分散して安定した業績

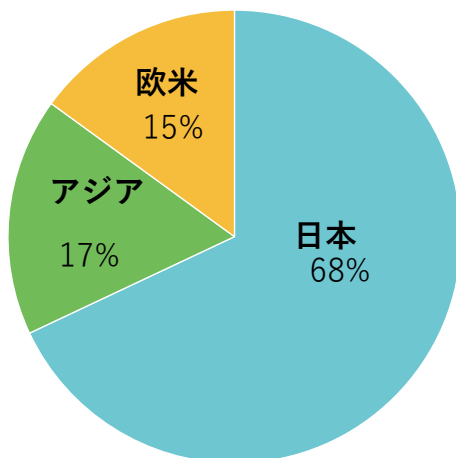
### 1 3つの事業、多様な業界向けの商品でポートフォリオが分散 →特定の事業・顧客・商品の実績に左右されない



## ポートフォリオが分散して安定した業績

### 2 ワールドワイドに事業を展開し、輸出入の両方を手掛ける→ 為替・地政学リスクへのヘッジ

地域別売上高



(2024年11月期)

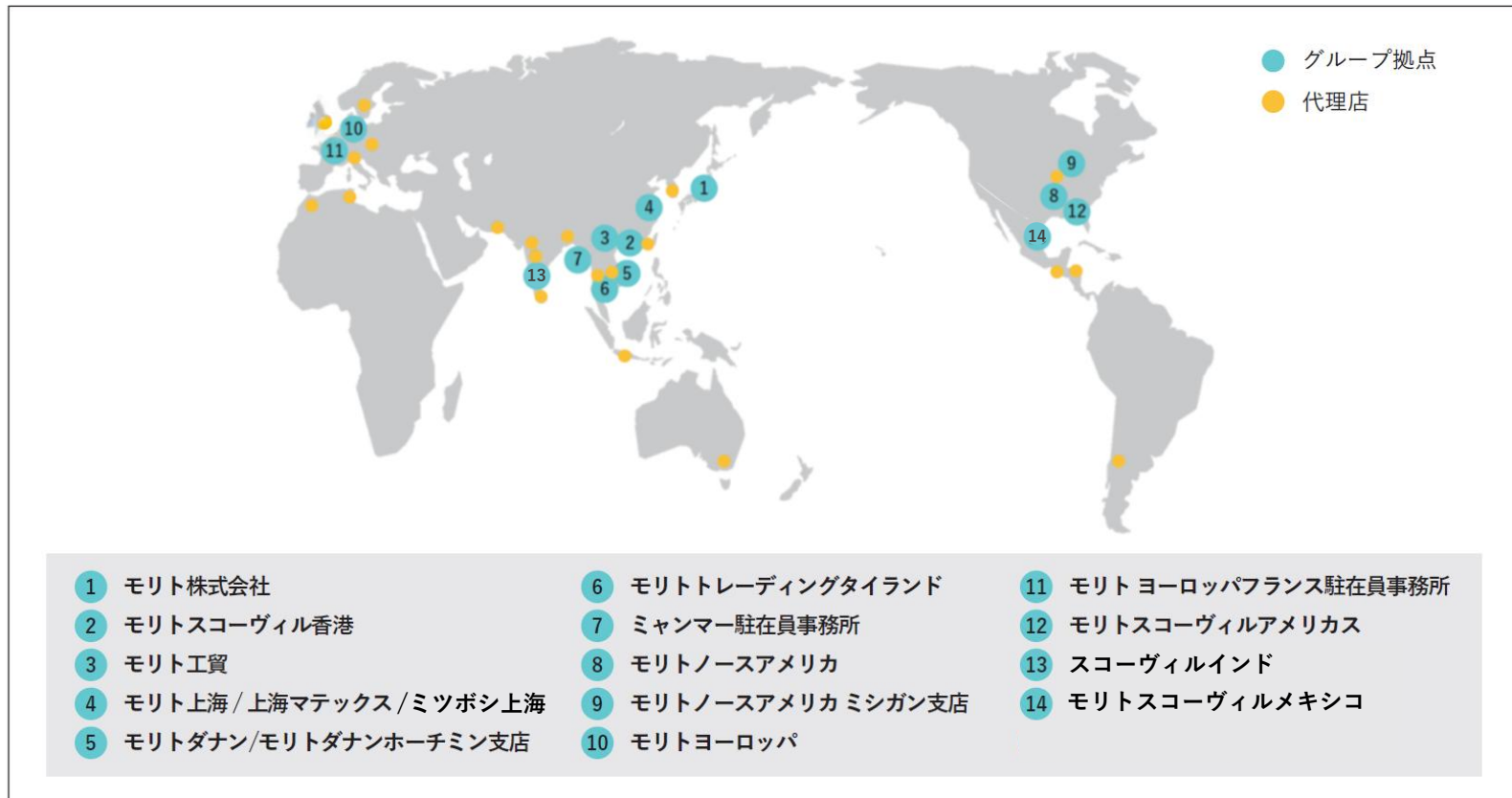
輸出入の割合

輸入 : 輸出

= 約 **6 : 4**

## 製造・調達・販売をグローバルに展開

製造・調達・販売網が世界各地に広がる。  
協力工場・代理店も世界各地にあり、あらゆる顧客ニーズにできるだけ近くで対応。



## ニッチ分野をターゲットに、トップクラスのシェア

ニッチでありながら、日常生活に欠かせないパーツのシェアを国内外で獲得。  
特に国内アパレル業界では、圧倒的な認知度とブランドを確立し、アパレルブランド  
にとって「パーツに困ったら、まずモリトに相談しよう」という便利屋的な存在。



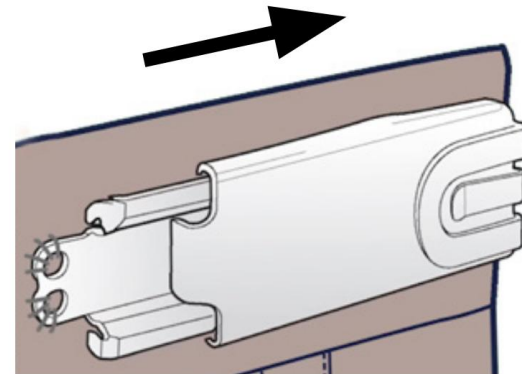
## なぜ高シェアなの？ ①機能性・デザインなどを加えた高付加価値商品

顧客・消費者ニーズを叶える付加価値を加えたオリジナル商品を独自に開発・オーダーメイドを行い、高機能・高品質を求める顧客の採用を獲得。  
一般的な機能のみの商品よりも利益率が高い。

### 商品名：らくらく感®

フォーマルウェア、ユニフォーム等のボトムスのファスナーの上に使われる「前カン」とバネを組み合わせた商品。

食事後などウエストのサイズが変わると、バネの力で自然に伸縮し、圧迫感を軽減。



## なぜ高シェアなの？ ②グローバル対応の品質管理・サポート体制

地域ごとに異なる品質基準に対応するため、全世界で販売可能な品質基準のパーツを取り扱い、ベビー・ワーキング・メディカルなど高品質が求められる業界に強み。グローバルで常に安定した品質管理を徹底。商品不良など万が一のトラブルには、国内外の拠点スタッフが直接お客さまの工場に訪問し、サポート。



← 縫製工場での様子

使用するホックの種類と取り付ける生地に合わせて、機械をメンテナンスするなど、顧客の生産サポートをモリトグループで実施。海外の縫製工場でも同様に対応し、商品不良を未然に防ぐ。

# 業績概要

---

## 2024年11月期 通期業績サマリー

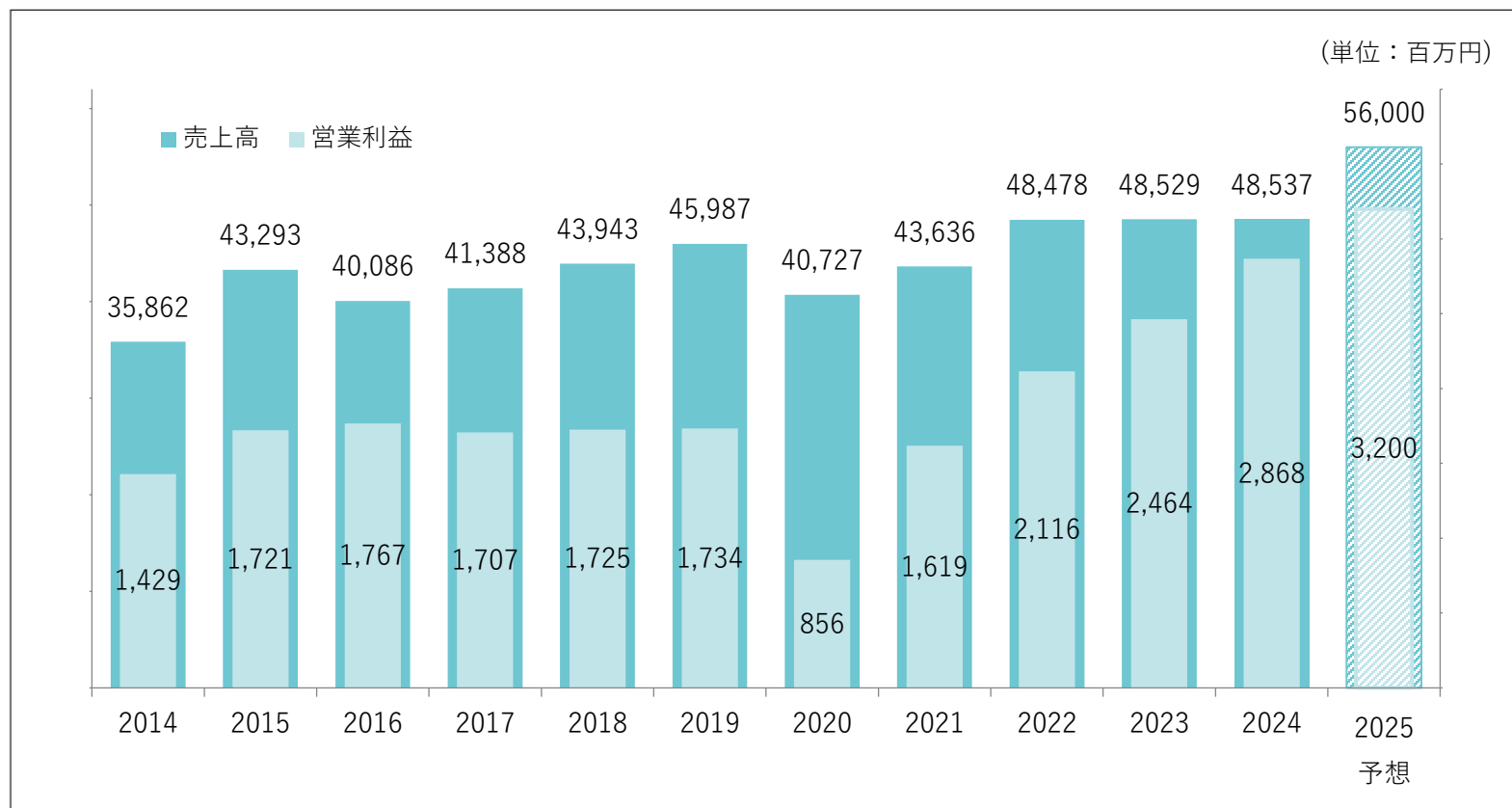
(単位：百万円)

	(参考) 2022	2023	2024	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高	48,478	48,529	<b>48,537</b>	+7	+0.02%
売上総利益 (%)	12,487 (25.8%)	13,265 (27.3%)	<b>14,138</b> <b>(29.1%)</b>	+872	+6.6%
経費 (%)	10,370 (21.4%)	10,801 (22.3%)	<b>11,269</b> <b>(23.2%)</b>	+468	+4.3%
営業利益 (%)	2,116 (4.4%)	2,464 (5.1%)	<b>2,868</b> <b>(5.9%)</b>	+404	+16.4%
経常利益 (%)	2,342 (4.8%)	2,771 (5.7%)	<b>3,003</b> <b>(6.2%)</b>	+231	+8.4%
当期純利益 (%)	1,674 (3.5%)	2,217 (4.6%)	<b>2,572</b> <b>(5.3%)</b>	+354	+16.0%



## 連結売上高と営業利益の10年の推移

2期連続で売上高・営業利益が過去最高を更新。(2023年・2024年11月期)  
2025年11月期も売上高・営業利益ともに過去最高を狙う。



## 連結貸借対照表（2025年11月期3Q）

自己資本比率は7割を超え、健全な財務状況。（2025年11月期3Q：72.2%）

（単位：百万円）

	2024	2025 3Q
<b>資産の部</b>		
流動資産	32,049	30,502 (- 1,547)
固定資産	20,427	25,376 (+4,948)
資産合計	52,476	55,878 (+3,401)

	2024	2025 3Q
<b>負債の部</b>		
流動負債	8,886	9,783 (+896)
固定負債	4,313	5,753 (+1,440)
負債合計	13,200	15,537 (+2,336)
<b>純資産の部</b>		
株主資本	33,129	33,963 (+834)
その他の 包括利益累計額	6,147	6,377 (+230)
純資産合計	39,276	40,341 (+1,065)
負債純資産合計	52,476	55,878 (+3,401)

自己資本比率 2025/11期 3Q：72.2%  
(2024/11期：74.8%)

# 成長に期待! これからのモリト

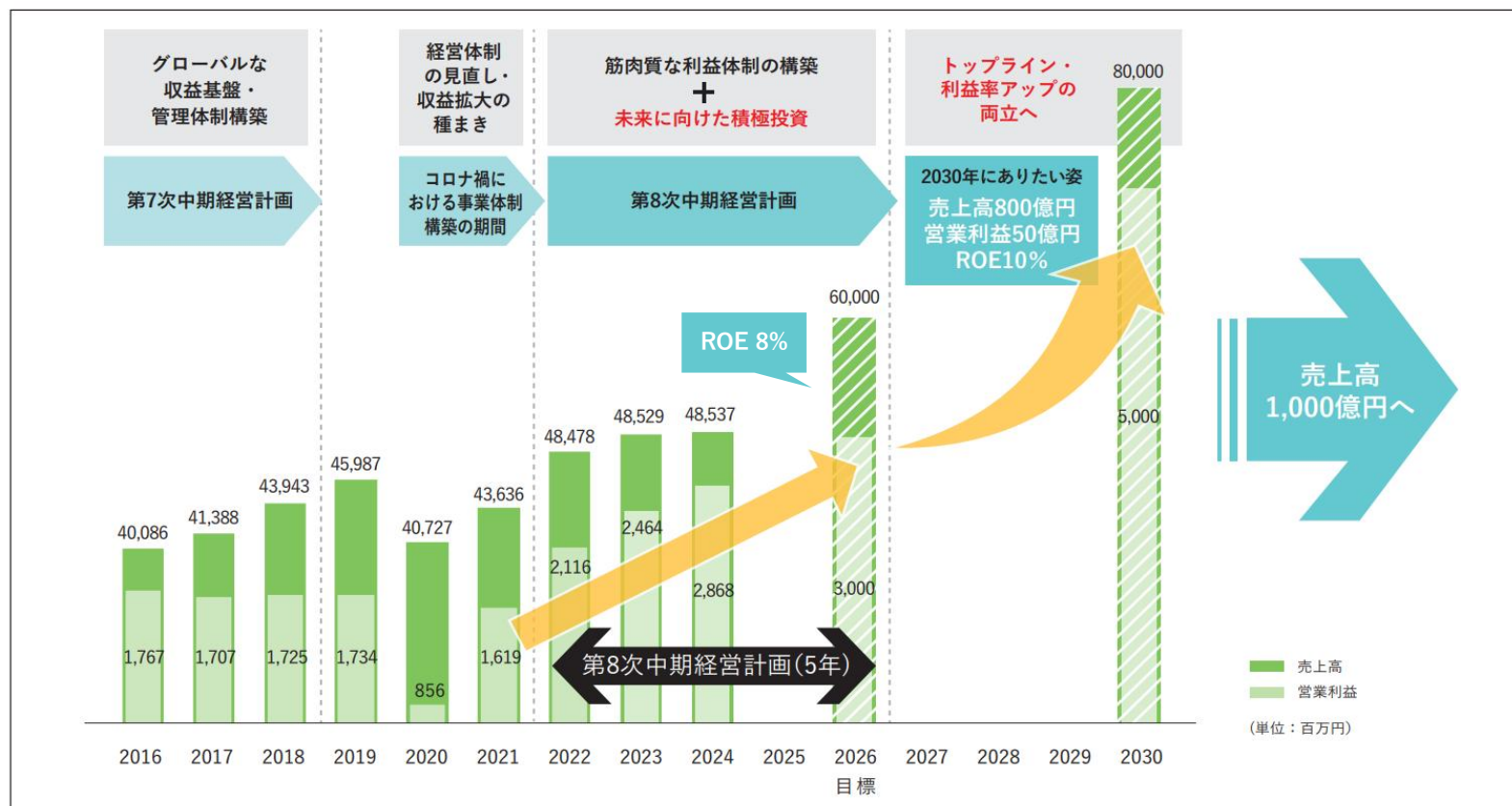
## 中長期方針 モリトが目指す姿

---

小さなパーツで世界を変え続ける  
グローバルニッチトップ企業

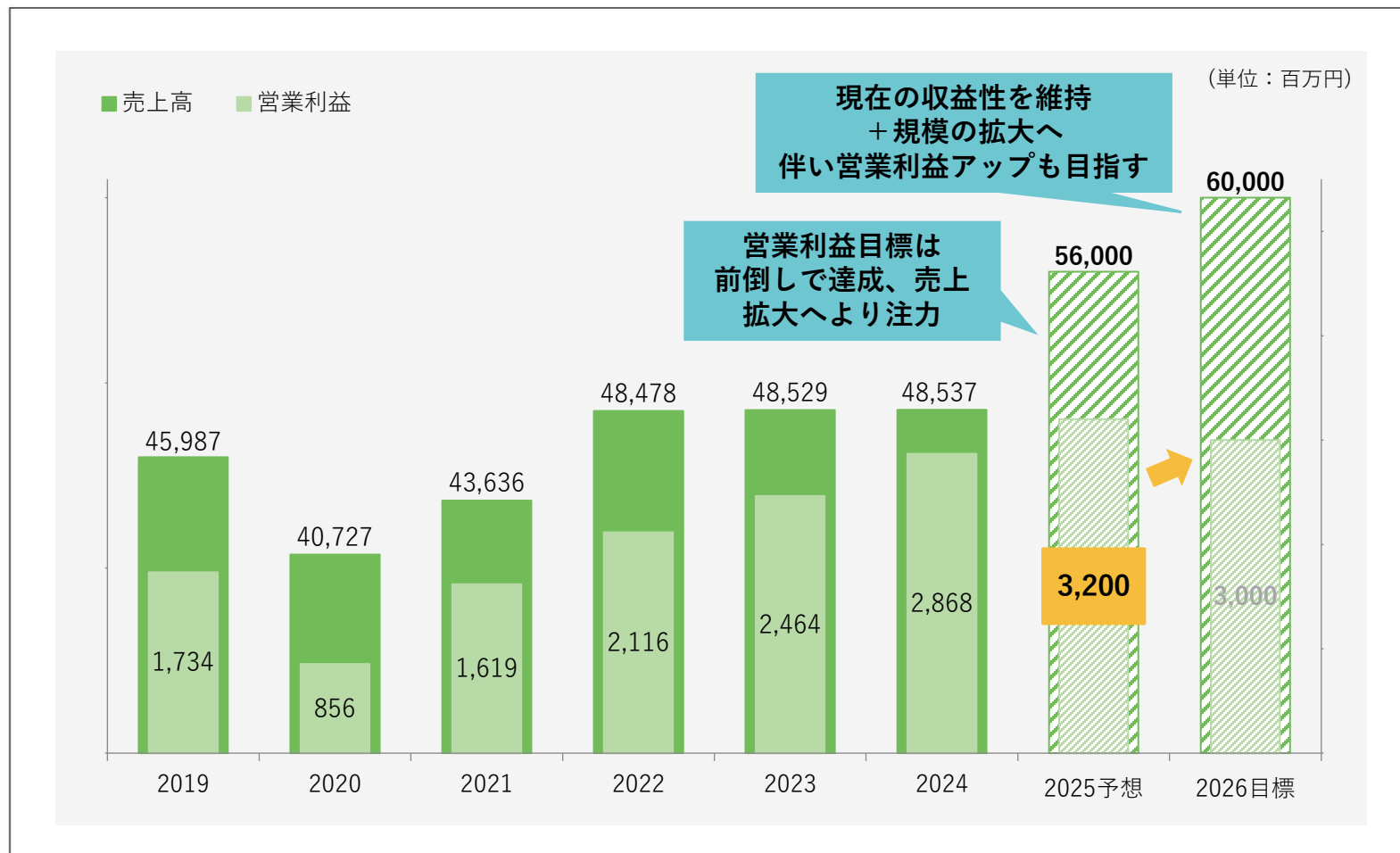
## 第8次中期経営計画（2022年11月期～2026年11月期） 長期目標売上高1,000億円に向けて

2026年11月期までの第8次中期経営計画を遂行中。「筋肉質な利益体制の構築」は、組織再編に伴う社員の利益率への意識改革などが功を奏し、2024年11月期まで想定以上のスピードで進捗。  
2025年11月期以降は、収益性は維持しつつ、売上規模の拡大を目指した取り組み・積極投資を実施。



## 第8次中期経営計画の進捗 【財務数値目標】

2025年11月期に営業利益目標30億円は前倒しで達成を見込む。売上高600億円を目指し戦略を遂行。

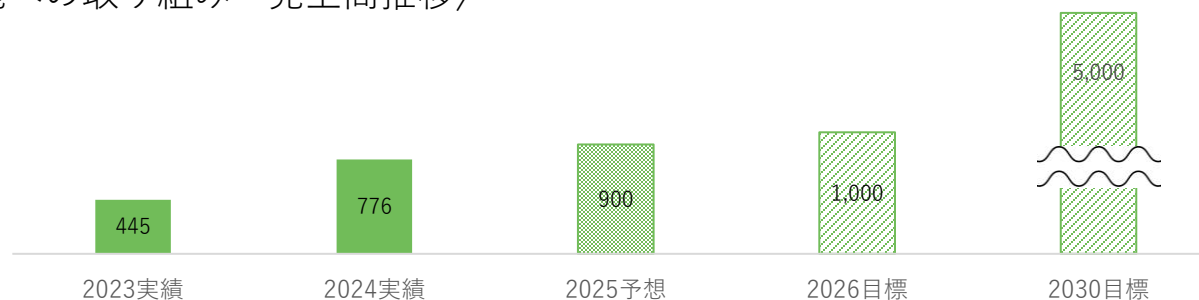


## 第8次中期経営計画 成長戦略【環境への取り組み Rideeco®(リデコ)】

Rideeco®（リデコ）は、2021年より開始したモリトグループの環境配慮型の商品開発等の取り組み。環境配慮への意識の高いアパレルブランド向けを中心に、環境への取り組みに関連する販売で、2026年11月期までに売上高10億円を目指す。

〈環境への取り組み 売上高推移〉

（単位：百万円）



〈2024年11月期 実績紹介〉



廃漁網由来の再生原料を一部に利用した生地が〈BEAMS GOLF〉のアイテムに採用



国内で回収された廃漁網を100%使用してリサイクルされた糸「MURON®」開発



MURONを使用した生地が、ANREALAGE（アンリアレイジ）がパリ・コレクションで発表したルックの服地に採用

## 第8次中期経営計画 成長戦略【環境への取り組み Rideeco<sup>®</sup>(リデコ)】

日本に漂着するプラスチックごみの総重量の内、約40%が廃漁網・ロープとされています※。その廃漁網をリサイクルした素材を使用した糸・資材を開発・販売。採用・引合いが増加し、売上規模は拡大中。新商品開発にも注力。



※ 平成28年度の環境省による海洋ごみの調査。



## 第8次中期経営計画 成長戦略【環境への取り組み Rideeco<sup>®</sup>(リデコ)】

縫製工場ではぎれなどを原料とした混抄紙（こんしょうし）ASUKAMI<sup>®</sup>。食品や植物などの天然繊維だけでなく、化学繊維を原料として活用できることが最大の強み。株式会社ワールドの下札・封筒・名刺に採用され、大学などとの産学連携の取り組みも実施。



## 第8次中期経営計画 成長戦略【プロダクト関連事業 厨房機器関連サービス】

### ● 事業効率化に向けた設備投資

→ 自社工場のオートメーション化、最先端の洗浄設備を各拠点へ

### ● サービス提供地域の拡充

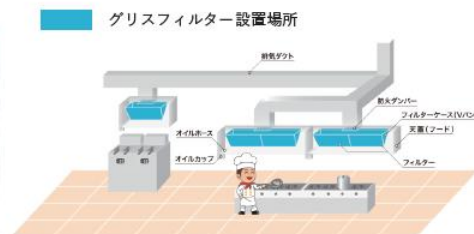
→ 関東・関西・北海道・中四国 等

### ● 安全で快適な環境を実現する トータルメンテナンスサービスの 提供の拡充

→ 飲食店・スーパー・食品工場・ホテル 等

#### 厨房機器関連サービス 事業概要

エース工機株式会社では、飲食店等の厨房の排気ダクトに使われる各種フィルターのレンタルサービス事業を展開し、フィルターの交換・配送・洗浄を実施。厨房排気設備清掃事業も実施し、施設内の快適環境の実現・火災リスクの軽減に寄与。



**グリスフィルター** 飲食店などの厨房の排気ダクトの入口部に設置されるフィルター。ダクトの油汚れを抑え、火災を抑制。



**自社工場設備** 自動制御のクレーンにより、フィルター洗浄・乾燥を自動化

## 第8次中期経営計画 成長戦略【BtoC事業への注力】

BtoB事業が主軸であることは変えず、収益性を高め、消費者・顧客ニーズをより理解し、BtoB事業へ還元することを目的に、BtoC事業へ注力。2024年12月にM&Aをした(株)Ms.IDのノウハウを活かし、既存のBtoCブランドの成長を目指す。

### BtoCブランドの一部



52  
BY HIKARUMATSUMURA

52 BY HIKARUMATSUMURA  
バッグブランド



ZAT  
TOTAL SEAMLESS CONCEPT  
BUILT FOR WET CONDITIONS

ZAT  
防水素材バッグブランド



SELECT MOCA

SELECT MOCA(セレクトモカ)  
EC専門レディースアパレル



YOSOOU  
YOSOOU

YOSOOU®  
ダウンウェアブランド



POLeR®  
アウトドアブランド



TEN.

TEN.(テン)  
シルバーアクセサリブランド

## 第8次中期経営計画 投資戦略

未来の成長・ROE向上のため、投資戦略を策定。今後も積極的な投資を実施予定。

成長投資		2024～2026年11月期 の投資合計金額	2024年11月期実績
新商品 開発費	5億円	・ 高級アパレルブランドへの拡販のため個展開催	実績 11.1億円
環境負荷低減への取り組み	5億円	・ アメリカ自社工場でのメッキ加工効率化 ・ サステナブル商品の開発・拡販	
設備投資	6億円	・ アメリカ自社工場での設備投資 ・ 厨房機器関連サービス 自社センター設立・設備強化	
BtoC強化	3億円	・ 52 BY HIKARUMATSUMURA・YOSOOUの広告宣伝 ・ 既存BtoC商品のラインアップ強化	
データ基盤整備、BI機能強化	5億円	・ データ基盤整備、BI機能強化	
人的資本への投資	1億円	・ 従業員エンゲージメント向上を目指した取り組み	
M&A	50億	・ Ms.ID、ミツボシコーポレーションの子会社化	実績 31.5億円
株主還元	60億	・ 基本方針に基づく配当、自己株式取得	

## 8次中期経営計画 投資戦略【M&A】

①～③の方針を基本要件として、今後も積極的にM&Aを検討。



## 投資戦略【M&A】実績

BtoC事業の強化・グローバルシェアの拡大を狙い、2件M&Aを実施。シナジー創出で更なる成長を目指す。

### Ms.ID



ECに特化したアパレル・アクセサリーブランドを運営。  
収益性向上に加え、Ms.IDのマーケティングノウハウ  
を当社既存BtoCブランドへ活用し、同時に資材を  
モリト調達に切り替えることでシナジーを見込む。  
さらにモリトグループのグローバルネットワークを  
活用し、Ms.IDのブランドの海外展開を狙う。

(Ms.ID 2024年8月期、シーティー・アソシエイツ2023年12月期  
単純合算実績)

純資産	1,475 百万円
総資産	2,467 百万円
売上高	3,893 百万円
営業利益	442 百万円

### ミツボシコーポレーション



作業服・ユニフォーム業界を中心とした  
「服飾資材総合販売事業」を主に展開。  
服飾パーツに加え、生地・糸・ネーム・タグなどを  
アパレルメーカーへセット販売を行う。  
この販売方法・商品のノウハウを獲得し、  
モリトグループのグローバルネットワークを  
掛け合わせることで、売上規模の拡大を見込む。

(2024年3月期実績)

純資産	2,262 百万円
総資産	5,335 百万円
売上高	7,462 百万円
営業利益	66 百万円



# 株主の皆さまへの還元

---

# 利益配分に関する基本方針

株主に対する利益還元を経営上の重要課題のひとつと位置付け、投資案件および財務状況（純資産等）を勘案の上、下記の方針に基づき、配当額を決定。

安定的かつ継続的  
配当の実現

親会社株主に帰属する  
当期純利益に対する

配当性向は  
50%以上を  
基準

連結自己資本配当率

DOE 4.0%  
基準

機動的な自己株式取得および適切な消却の実施を引き続き検討

※ ただし、特別な損益等の特殊要因により税引後の親会社株主に帰属する当期純利益が大きく変動する事業年度についてはその影響を考慮し配当額を決定します。



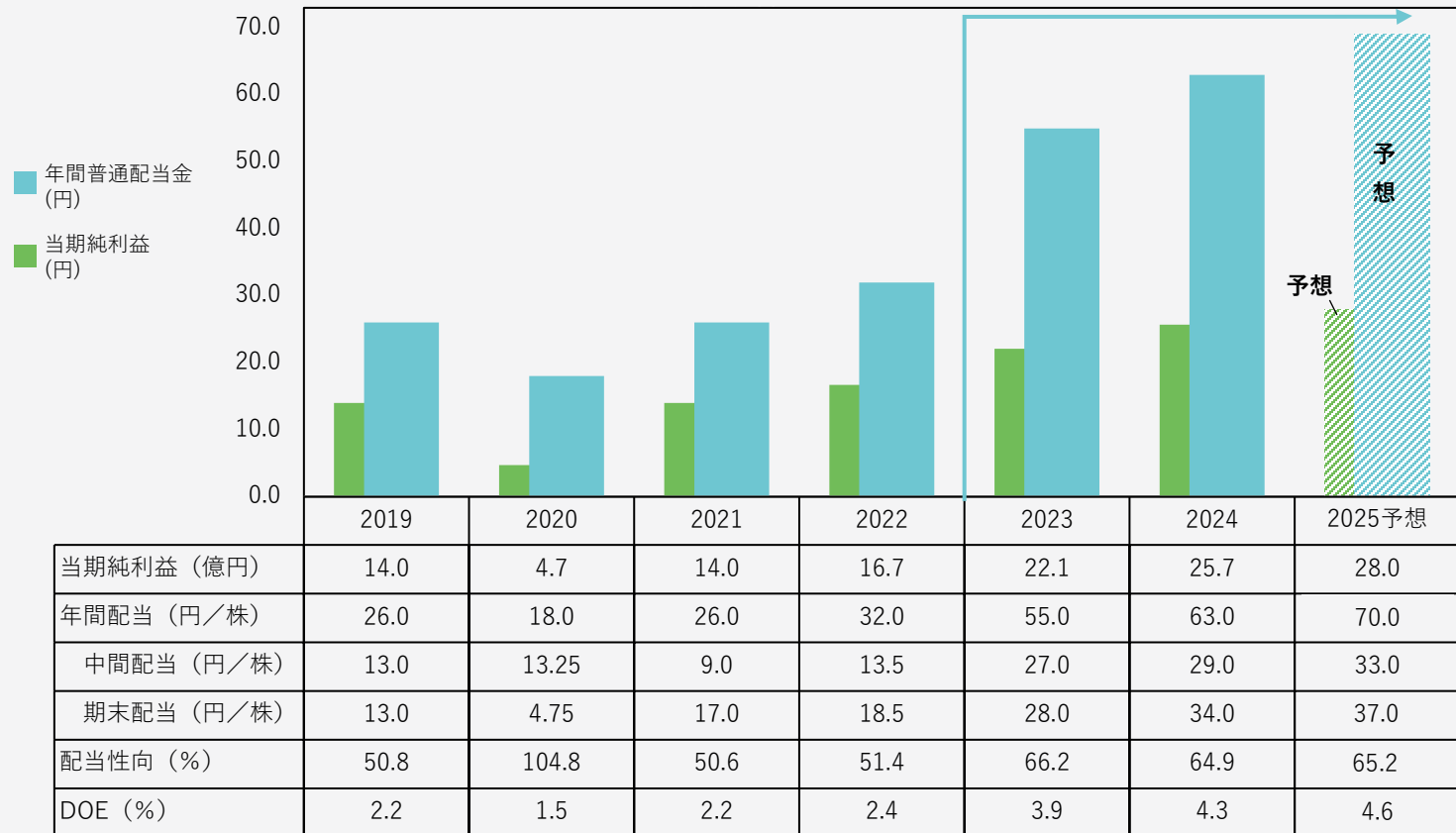
## 期末配当予想の増配

「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」で掲げる資本政策（株主還元の継続・純資産のコントロール）を勘案し、  
期末配当予想を1円増配し、36円→37円へ。

	中間配当	期末配当	合計 (年間配当)
前回予想		36円	69円
今回修正予想		37円	70円
当期実績	33円		
前期実績	29円	34円	63円

# 配当金・配当性向・DOEの推移

2023年11月期より、利益配分に関する基本方針を変更



## まとめ

✓ 生活に欠かせないパーツ

✓ グローバルニッチトップ

✓ 環境配慮の取り組みRideeco®

✓ 健全な財務状況

✓ 安定した業績

✓ 高配当利回り

### モリトの株式情報

会社名	モリト株式会社	証券コード	9837
株式上場	東証プライム市場	単元株数	100株
決算期	11月末	配当	年2回

# 本資料のお取扱いについて

---

本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、  
当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、  
完全性を保証するものではありません。

本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき  
当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。  
そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されて  
いる将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ先      〒541-0054 大阪市中央区南本町4-2-4  
モリト株式会社 IR・広報部          E-mail : ir@morito.co.jp

# MORITO

あたりまえに、新しさ。